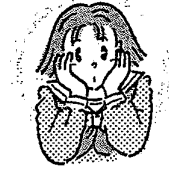


Q 6

保健室登校をしている子供がいます。どのような過ごさせ方をしたらいいでしょうか。

A 保健室登校の子供の理解と対応

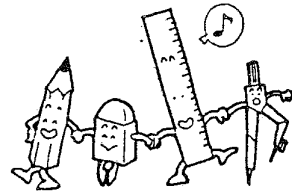
- .....《基本的理解と対応1》.....
- 保健室は、教室へ復帰する前の段階としての居場所であったり、教室に居場所のなくなった子供の一時的な避難場所であったりします。
  - 保健室を「心のオアシス」として居場所を求めてくる子供の気持ちをしっかり受け止め、認めていくことが大切です。
  - 保健室での過ごさせ方は、その子供と一緒に考え、子供が興味をもって取り組めるものから始めることがよいでしょう。



《養護教諭と子供との会話の例》

先生「Aさん、今日何して過ごそうか？」  
子供「うーん……。」  
先生「Aさんが図工が得意だって聞いたから、絵を描いたり、何か作ったりするのもいいかなって思っているんだけど。」  
子供「じゃあ……、絵を描いてみようかな。」  
  
子供「先生、今日は私、少し勉強も始めてみようかと思って……。」  
先生「あら、そう。それもいいわねー。じゃあ、どの教科にする？」

- .....《基本的理解と対応2》.....
- 保健室での子供の様子を観察しながら、本人の気持ちが安定してきたら、友人とのかかわりをもたせるのもよいでしょう。
  - 友人や他の職員との関係性が少しずつ出てきたら、状態を見ながら、学校行事や学級活動など、参加しやすいものから勧めてみるのもよいでしょう。
  - 学級担任は、できるだけ時間を見つけて保健室に行き、子供の頑張りを認めることも必要です。



《学級担任の具体的な言葉掛けの例》

- ・「算数のプリント持ってきたよ。気が向いたらやってみて、もし分からないところがあったら、いつでも聞いてね。」
- ・「今日の給食、クラスで一緒にどうかな。」
- ・「今日はどうしてた？放課後、少し時間とれるけどゆっくり話してみないかな？」
- ・「文化祭の練習始めたけど、一緒に練習やってみないかな。」